

企業の生物多様性の取組みに対する一般生活者の意識 企業の生物多様性保全活動、「森」や「植樹」が印象 本業での貢献に期待

ノルド社会環境研究所（本社：東京都中央区、代表取締役：久米谷弘光）は、企業の生物多様性の取組みに対する一般生活者意識を把握するため、2009年7月中旬に、全国の20歳以上の男女個人2,000人（有効回収）を対象としたWebアンケート調査を実施しました。

● 生活者が思い浮かべる生物多様性貢献企業、トップは「サントリー」

“森”や“植樹”に関する活動が印象付け

生物多様性保全に貢献している企業として思い浮かぶ企業名を自由に記述してもらったところ（純粋想起）、1位は他社を引き離して「サントリー」となりました。そのほか上位は、2位「イオン」「トヨタ自動車」、4位「東京電力」、5位「日本たばこ産業（JT）」です。

各企業名をあげた理由として、1位のサントリー、2位のイオンを含め、全般的に「森を守る」「木を植える」活動をあげる人が多く、“森”や“植樹”に関する活動やそのアピールが一般生活者に印象付けられていることがうかがえます。

なお、無回答や「思い浮かばない」「特にない」などの回答が7割を超えており、「生物多様性」という用語の認知度の低さとも相まって、まだ企業と生物多様性のつながりや活動があまり伝わっていないと言えるでしょう。

表：生物多様性の保全に貢献している企業 上位20社 [N=2,000] とその理由

問：生物多様性の保全に貢献している企業といえば、あなたはどこを思い浮かべますか。（自由回答）

順位	企業名	件数
1	サントリー	76
2	イオン	42
2	トヨタ自動車	42
4	東京電力	23
5	日本たばこ産業	22
6	住友林業	14
7	パナソニック	12
8	コスモ石油	11
9	日立	10
10	アサヒビール	10
11	三井住友海上	9
12	本田技研工業	8
13	NGO/NPO団体	7
14	新日本石油	7
15	シャープ	7
16	富士通	6
17	麒麟	6
18	マクドナルド	6
19	動物園	6
20	パタゴニア	6

1位：サントリー

順位	理由	件数
1	水と森を守る活動をしている	32
2	自然・生態系の保全に積極的	10
3	企業の広報活動から	9
4	環境保全に積極的	7
5	木を植えている	5
6	工場での環境配慮	3
6	自然の恵みを利用している	3
6	自然に関する研究を行っている	3
9	寄付活動	2
	その他	3

2位：イオン

順位	理由	件数
1	木を植えている	28
2	身近なところで見聞きする	4
3	環境保全に積極的	3
4	自然・生態系の保全に積極的	2
4	商品が環境に配慮している	2
	その他	4

3位：トヨタ自動車

順位	理由	件数
1	エコカー（ハイブリッド、低燃費）の開発・生産をしている	20
2	企業の広報活動から（番組のスポンサーなど）	6
3	自然・生態系の保全に積極的	5
4	なんとなく	3
5	環境保全に積極的	2
	その他	6

次ページ

このリリースに関するお問い合わせ先：株式会社ノルド社会環境研究所
 東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー 電話 03-5524-7333 担当：^{ひじかた}土方・^{その}園
 ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

4位:東京電力

順位	理由	件数
1	尾瀬の自然を守る活動をしている	9
2	自然・生態系の保全に積極的	6
2	CO2削減や省エネに取り組んでいる	5
	その他	3

5位:日本たばこ産業

順位	理由	件数
1	木を植えている	7
1	企業の広報活動から(CMなど)	7
3	環境保全に積極的	5
4	自然・生態系の保全に積極的	2
4	バイオ分野の事業を行っている	2

● 本業における生物多様性保全への貢献に期待

企業に期待する生物多様性保全活動の形態は、「事業活動における環境負荷の低減」(44%)が最も多く、次いで「原材料・資材調達先の選定」(36%)や「製品・サービスの開発」(36%)など、本業での取り組みが多くあげられています。一方、「社員による自然保護活動などへの参加」「社有地における生物多様性の保全」などの社会貢献活動は下位になっています。

このことから、生活者にとって、“森”や“植樹”に関する活動などの社会貢献活動が印象付けられている一方で、基本的には本業での貢献に期待していることが分かります。今後、企業にとっては、本業での生物多様性保全への貢献と、それをアピールするためのシンボリック活動やコミュニケーション活動を効果的に組合せていくことが鍵と言えるでしょう。

問:生物多様性の保全に向けて、あなたが企業に期待するのはどのような形の活動ですか。(複数回答)

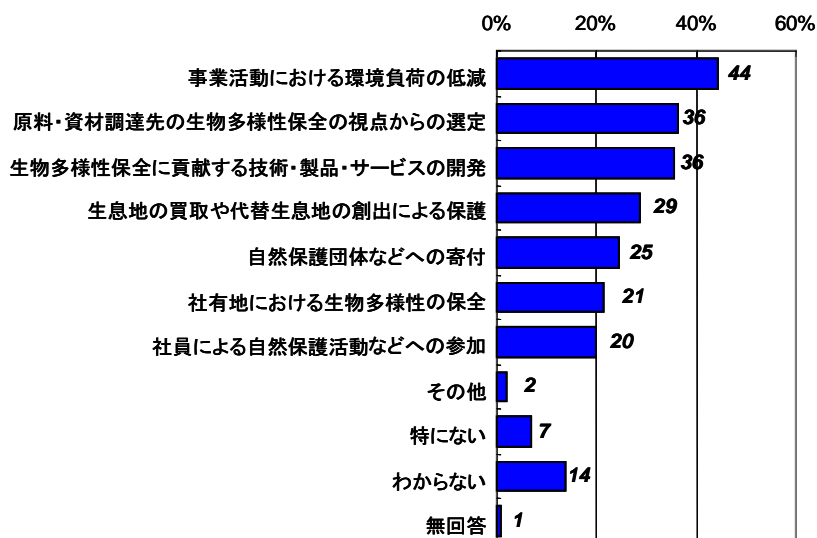


図: 生物多様性保全のために企業に期待する活動 [N=2,000]

本調査の概要

本調査は、ノルド社会環境研究所の自主調査「社会環境に関するアンケート調査」の一環として行いました。その概要は以下の通りです。

調査対象：全国の20歳～59歳の男女個人（インターネットユーザー）

調査方法：Web アンケート

サンプル抽出方法：生活者モニターからの無作為抽出（性・年齢・地域別の人口比に応じて抽出）

有効回収集計対象サンプル数：2,000 サンプル

調査時期：2009年7月10日～17日

※2006年～2008年調査は、同様の方法で2006年7月、2007年7月、2008年7月にそれぞれ実施しました。

株式会社ノルド社会環境研究所

“ピープルズシンクタンク”を理念とする独立系の民間調査研究機関。社会環境政策、地域計画、マーケティング、CSR、広報・コミュニケーション分野の調査研究及びコンサルティングを行なっている。

このリリースに関するお問い合わせ先：株式会社ノルド社会環境研究所

東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー 電話 03-5524-7333 担当: 土方・^{ひじかた} 園 ^{その}
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>